

デバイス感染報告 (ICU)

【指標の意義・定義】

デバイス（医療器具）の挿入に関連して発生する感染をデバイス関連感染（Device related infection）とよぶ。医療関連感染のなかでも、デバイス関連感染症（血管内留置カテーテル関連血流感染、尿路カテーテル関連尿路感染、人工呼吸器関連肺炎）の占める割合は高い。

当指標ではそれぞれの感染率を集計し厚生労働省事業 JANIS を用いて全国比較し、管理・挿入方法の評価を行う。

【当院の実績】

感染症の発生率（％）

感染症	場所	2016年	2017年	2018年	2019年	2020年	2021年	2022年	2023年
人工呼吸器関連肺炎 (VAP)	当院	1.4	0.5	1	0.9	0	5.9	3.4	0
	JANIS基準	1.5	1.3	1.3	1.3	1.2	1.8	1.4	1.4
カテーテル関連尿路感染(UTI)	当院	0.9	1.4	0	0.4	0	0	0	0
	JANIS基準	0.6	0.7	0.8	0.6	0.7	0.5	0.6	0.7
カテーテル関連血流感染 (BSI)	当院	2.3	0.9	1	0	0	0	1	1.5
	JANIS基準	0.8	0.7	0.6	0.6	0.7	0.7	0.8	0.7

【指標の説明】

2023年はVAP・UTIは全国平均より低いSSI発生率であったが、BSIはやや高い傾向にあった。BSIの原因には患者さんの免疫力が影響するがそれ以外にもカテーテル挿入時の手指衛生や挿入後のドレッシング剤管理などが影響するため、ICUにおける手技の確認および挿入手順を確認する必要がある。